

Pro-face[®]

Windows XP Embedded

ユーザーズマニュアル

はじめに

このたびは、(株)デジタル製の Windows XP Embedded (以下、XPE と称します) をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

ご使用にあたっては、本書をよくお読みいただき、XPE の正しい取り扱い方法と機能をご理解いただきますようお願いいたします。

お断り

1. 本製品および本書の内容の、一部または全部を無断で転載することは禁止されています。
2. 本製品および本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがありますのでご了承ください。
3. 本製品および本書の内容に関しては、万全を期して作成いたしました。が、万一誤りや記載もれなど、ご不審な点がありましたらご連絡ください。
4. 本製品を使用したことによるお客様の損害その他の不利益、または第三者からのいかなる請求につきましても、当社はその責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

© Copyright 2005 Digital Electronics Corporation. All rights reserved.

Windows は、米国マイクロソフト社の米国およびその他の国での登録商標または商標です。
その他の会社名、製品名は、各社の商標、登録商標です。

商標などについて

本書に記載の会社名、商品名は、各社の商号、商標（登録商標を含む）またはサービスマークです。本製品の表示・記述の中では、これら権利に関する個別の表示は省略しております。

商標	権利者
Microsoft, Windows	米国マイクロソフト社
Pro-face	(株) デジタル
Adobe	アドビシステムズ社
Flash, Shockwave	Macromedia 社

なお、上記商号・商標類で、本書での表記が正式な表記と異なるものは以下のとおりです。

本書での表記	正式な表記
Windows XP OS	Microsoft [®] Windows [®] XP operating system
Adobe Reader	Adobe [®] Reader [®]
Flash Player	Macromedia [®] Flash [®] Player
Shockwave Player	Macromedia [®] Shockwave [®] Player
Windows Media Player	Windows Media [®] Player

マニュアルの読み方

本書は Windows XP Embedded の機能や設定方法について記載しています。ハードウェアに関する使用上の注意や設置方法などは同梱の取扱説明書または本体のユーザーズマニュアルを参照ください。

Windows XP Embedded をご利用の際には本体のユーザーズマニュアルに記載しているソフトウェア部分を本書と読み替えていただく必要があります。

マニュアル表記上の注意

本書で使用している用語や記号等の意味は以下のとおりです。

重要	この表示の説明に従わない場合、機器の異常動作やデータの消失などの不都合が起こる可能性があります。
MEMO	ご使用に際して、ポイントとなる項目です。
※	脚注で説明している語句についています。
(1) (2)	操作手順です。番号に従って操作を行ってください。
XPE	Windows XP Embedded の略称です。

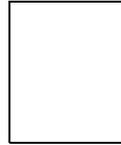
梱包内容

梱包箱には、XPE 専用の梱包物として以下のものが入っています。ご使用前に必ず確認してください。

Windows XP Embedded

User Manual CD 1 枚

End User License Agreement 1 枚



Windows XP Embedded のマニュアルについて 1 枚



MEMO

- 品質や梱包などには出荷時に際し、万全を期しておりますが、万一破損や部品不足、その他お気付きの点がありましたら、直ちに販売店までご連絡くださいますようお願いいたします。
- 最新版のマニュアルと、Driver、Utility のアップデート版は、(株)デジタルのホームページからダウンロードできます。

<http://www.proface.co.jp/>

目次

はじめに	1
商標などについて	2
マニュアルの読み方	3
マニュアル表記上の注意	3
梱包内容	4
目次	5

第 1 章 Windows XP Embedded について

1 特長	1-2
2 機能一覧	1-4
3 ライトフィルタについて	1-5
3.1 ライトフィルタの設定手順	1-8
4 セキュリティ ID について	1-9
4.1 セキュリティ ID 変更手順	1-9
5 RAM Disk について	1-11
5.1 RAM Disk の設定手順	1-11
6 各種設定	1-14
6.1 コントロールパネルの機能	1-14
6.2 Backlight Brightness	1-15
6.3 KeyClick	1-15
6.4 UPDD	1-17
6.5 言語の削除	1-17
6.6 Windows Media Player について	1-19
6.7 Java Runtime	1-20
6.8 Macromedia 社 Macromedia Flash Player 及び Shockwave Player について	1-21
7 終了	1-22
7.1 ハードディスクと組み合わせ時の終了	1-22
8 リカバリについて	1-25
9 制限事項	1-26

第 A 章 付録

1 「IN-fINITY soft 製 KeyClick32」規約	A-2
2 Mouse Emulation Software ソフトウェア使用権許諾契約書	A-3

1 Windows XP Embedded について

1	特長.....	1-2
2	機能一覧.....	1-4
3	ライトフィルタについて	1-5
4	セキュリティ ID について.....	1-9
5	RAM Disk について.....	1-11
6	各種設定.....	1-14
7	終了.....	1-22
8	リカバリについて	1-25
9	制限事項.....	1-26

1 特長

XPE は、Windows XP OS をコンポーネント化したバージョンであり、ライトフィルタなどの組み込みデバイスに特化した機能を持つ OS です。

(株) デジタル製の XPE には以下の特長があります。

• ライトフィルタ機能

XPE には、CF カードへの書き込みを防止するライトフィルタ機能があります。CF カードへのアクセス回数削減のため、通常はライトフィルタの設定を有効にしてください。また、ライトフィルタ機能を有効にしておくと、シャットダウン操作を不要にできます。

 [3 ライトフィルタについて](1-5 ページ)

MEMO

- ライトフィルタで保護されていないデバイス (CF カード以外) へ書き込みを行っている場合に電源を切るとデータ破損の原因になりますので、他のデバイスへ書き込みを行っていないことを確認して電源を切る必要があります。確認方法は以下のとおりです。

< 確認方法 >

ハードディスク：本体フロント LED にて確認

USB 機器 / PCMCIA：ユーザーアプリケーションなどで書き込みを行っていないことを確認

上記確認方法にて確認できない場合は、ハードウェアの安全な取り外しを行ってください。

• マルチランゲージ対応 (マルチランゲージ版のみ)

英語、スペイン語、フランス語、ドイツ語、イタリア語、ロシア語、中国語、台湾語のマルチランゲージに対応しています。

MEMO

- 日本語版はマルチランゲージには対応していません。
- 不要なマルチランゲージを削除する場合は「6.5 言語の削除」を参照してください。

 [6.5 言語の削除](1-17 ページ)

• ハードディスクとの組み合わせ使用対応

ハードディスクと組み合わせることでデータエリアを広げ、大きいサイズのアプリケーションを使用することができます。

MEMO

- PS-370xA シリーズでは対応していません。
- ハードディスクと組み合わせ使用し、シャットダウン操作を不要にする場合は、書き込みキャッシュを無効にする必要があります。「7.1 ハードディスクと組み合わせ時の終了」を参照してください。

 [7.1 ハードディスクと組み合わせ時の終了](1-22 ページ)

- バックライトスクリーンセーバー機能
バックライトを OFF/ON するスクリーンセーバー機能でバックライトの寿命を延ばします。

MEMO • PS-2000B にこの機能はありません。

- System Monitor 搭載
システムの異常監視を可能にします。

MEMO • 詳細は本体のユーザーズマニュアルを参照してください。

- タッチパネルドライバ (UPDD) 対応
タッチ操作でマウスのような入力操作ができます。

MEMO • PS-2000B は出荷時に UPDD を組み込んでいません。必要に応じてインストールしてください。

☞ [6.4 UPDD](1-17 ページ)

- KeyClick 搭載
画面上にキーボードを表示し、タッチパネルからのキー入力を可能にします。

MEMO • 日本語と英語の場合のみ対応しています。
上記以外の言語でタッチパネルからのキー入力を行う場合は Microsoft 社の Screen Keyboard をご使用ください。

- ログイン時のパスワード入力には使用できません。

☞ 「6.3 KeyClick」(1-15 ページ)

重要 • アプリケーションをインストールする場合は、以下 CF カードの空き領域にご注意ください。

< 出荷時 >

日本語版 約 430MB

マルチランゲージ版 約 150MB

マルチランゲージ版をご使用の際、空き領域が不足している場合は、不要な言語を削除してください。

☞ 「6.5 言語の削除」(1-17 ページ)

2 機能一覧

主要アプリケーション一覧

出荷時に組み込まれている主なアプリケーションは以下の一覧のとおりです。

アプリケーション名	内容
Internet Explorer 6	Microsoft 社の Web ブラウザです。
日本語 IME ^{※1}	日本語入力用かな漢字変換ソフトウェアです。
.NET FrameWork	Microsoft.NET 対応ソフトウェアのための実行環境です。
コントロールパネル	コンピュータをカスタマイズすることができます。コントロールパネルからは、新しいハードウェアの追加、プログラムの追加と削除、画面表示の変更などを始めとして、さまざまな操作を開始できます。
アクセサリ	Microsoft 社のメモ帳、ペイント、スクリーンキーボード、コマンドプロンプト、ハイパーターミナルを実装しています。
Backlight Brightness ^{※2}	画面の輝度を調整します。
KeyClick	画面上にキーボードを表示し、キー入力を行います。日本語と英語のみ対応しています。
UPDD ^{※3}	マウスエミュレーションを行うドライバです。
EWf Setting Tool	ライトフィルタの設定を行います。
System Monitor	システムの異常監視を行います。

※1 マルチランゲージ版にこの機能はありません。

※2 PS-2000B にこの機能はありません。

※3 PS-2000B は出荷時に UPDD を組み込んでいません。

3 ライトフィルタについて

XPE は、ライトフィルタ (CF カードへの書き込みをなくす機能) を実装しています。

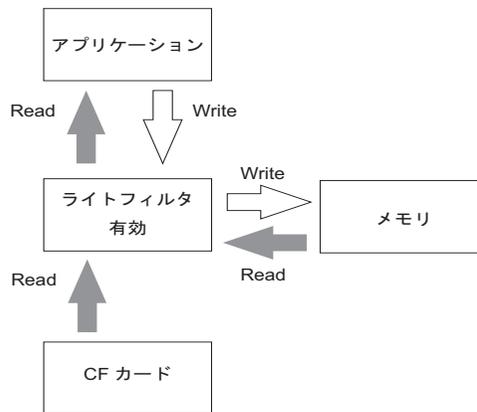
ライトフィルタの設定を有効にすることにより、CF カードへの書き込みを防止することができます。

MEMO

- PCMCIA で使用しているデータ書き込み用の CF カードには適用されません。

ライトフィルタが有効な場合、CF カードへのアクセスは以下の通りになります。

- Read : CF カードに直接アクセス
- Write : メモリにアクセス

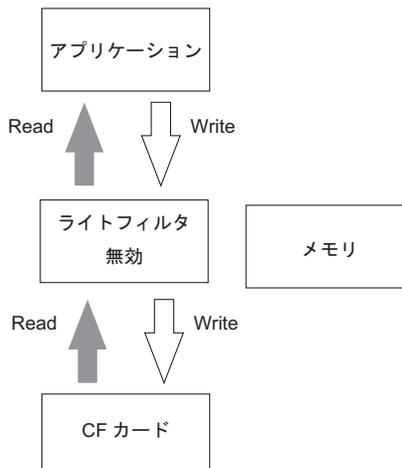


MEMO

- メモリ上に追加および変更されたデータがある場合には、メモリ上のデータが優先されます。

ライトフィルタが無効の場合、CF カードへのアクセスは以下の通りになります。

- Read : CF カードに直接アクセス
- Write : CF カードに直接アクセス



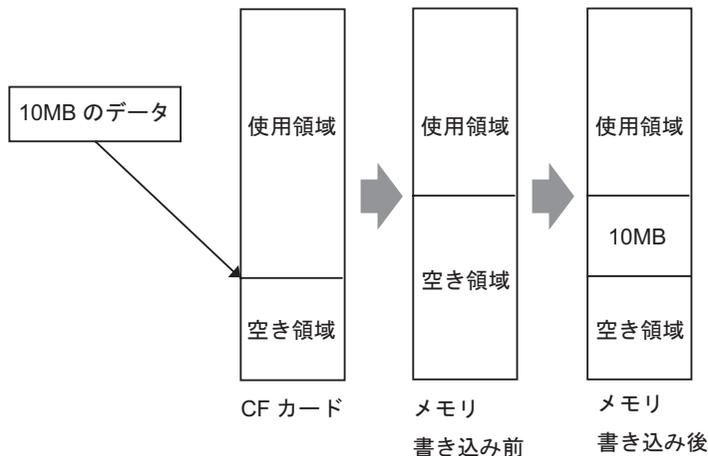
CF カードへの書き込み時の電源 OFF はデータの破損につながりますので、通常はライトフィルタの設定を有効にしてください。

また、CF カードへの書き込み防止により、CF カードの破損や寿命（参考値：0 ~ 70、書き込み / 削除回数：1 ブロック当り 30 万回）の低下を防ぐことができます。

ライトフィルタに関する注意事項

- ライトフィルタを有効にすることにより、CF カードへの書き込みはすべてメモリ上に行われます。ただし、CF カードに書き込まれた情報を削除しても、メモリ上の情報は削除することができません。メモリ上の情報を削除するにはシステムの再起動が必要になります。
- CF カードに空き領域が存在しても、メモリ上に空き領域がない場合にデータを書き込むとメモリ不足エラーが発生します。また、メモリ上に空き領域が存在し、CF カードに空き領域がない場合はディスクの空き領域不足エラーが発生し、データが書き込めません。データを書き込む際は CF カードと、メモリの空き領域に十分ご注意ください。

例) ライトフィルタ有効状態にて、10MB のデータの書き込みを行った場合



<10MB のデータが書き込まれる条件 >

- CF カードの見かけの空き領域が 10MB 以上
- メモリの空き領域 10MB + OS が正常に動作するために必要なメモリ空き領域

<10MB のデータが書き込まれたあとの状態 >

- CF カードの見かけの空き領域が 10MB 減ります。
- メモリの空き領域が 10MB 減ります。

<10MB のデータを削除したあとの状態 >

- CF カードの見かけの空き領域が、10MB のデータを書き込む前に戻ります。
- メモリの空き領域は書き込まれた状態から変化しません。

- ライトフィルタ領域に多くのデータを書き込むことで、空きメモリが減少します。そのため使用する上では、CF カードへの書き込み動作を極力控えていただく必要があります。

(株) デジタル製 XPE ではこの問題を解決するために、RAM Disk を実装しています。

RAM Disk は、指定したサイズを揮発性ディスク領域として使用でき、直接メモリ領域に書き込みを行うため、ライトフィルタの有無に関わらず、領域を何度でも使用できます。

Internet Explorer のキャッシュなどのデータ格納場所を RAM Disk にすることで、長時間メモリの空き領域を変化させずにシステムを動作させることができます。

また、ユーザーアプリケーションなどのロギングデータなども RAM Disk を有効に使えるデータのひとつとなります。RAM Disk の詳細および設定は、「5 RAM Disk について」を参照してください。

 「5 RAM Disk について」(1-11 ページ)

- 各種設定、ドライバの追加、レジストリ変更を行う場合は、必ずライトフィルタの設定を無効にしてください。ライトフィルタの設定が有効の場合、OS などへの設定情報は OS 再起動時にすべて破棄されてしまいます。設定を変更する際は必ずライトフィルタを無効にしてください。

3.1 ライトフィルタの設定手順

ライトフィルタの設定は「EWFSettingTool.exe」ツールを使用して変更します。このツールには以下の機能があります。

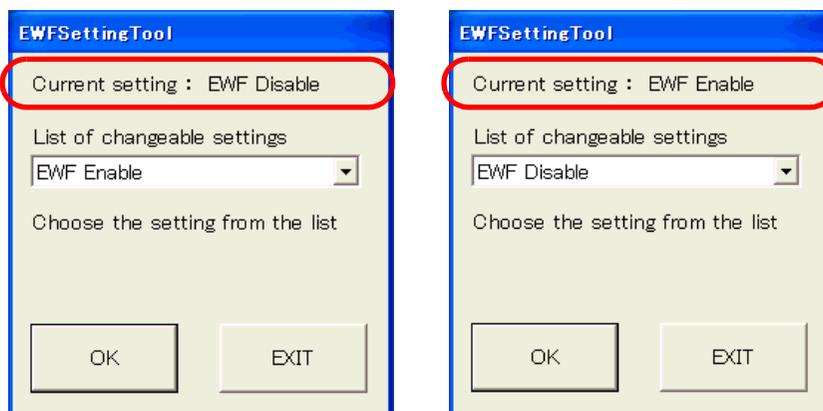
- ライトフィルタ無効 (EWF Disable)
- ライトフィルタ有効 (EWF Enable)
- セキュリティ ID の変更

次にライトフィルタの設定変更手順を記載します。

- (1) [スタート] [ファイル名を指定して実行]を開き以下の場所の実行ファイルを起動します。

C: ¥ Proface ¥ EWFSettingTool ¥ EWFSettingTool.exe

- (2) 表示画面の Current setting(ライトフィルタの現在の状態)を確認してください。「Disable: 無効 / Enable: 有効」



- (3) リストから設定を選択してください。
- (4) [OK] をクリックして終了します。
設定の変更が反映されるのは、次回再起動後です。

MEMO

- セキュリティ ID の変更は、ライトフィルタの設定が無効になっていないと選択できません。
- セキュリティ ID の変更は、お客様が起動用 CF カードを複製する場合、必ず行ってください。
- セキュリティ ID については、「4 セキュリティ ID について」を参照してください。

 [4 セキュリティ ID について](1-9 ページ)

重要

- ライトフィルタの設定変更を行うには Administrator 権限が必要です。

4 セキュリティ ID について

セキュリティ ID は、各端末に割り振られる固有の ID です。セキュリティ ID が同じであれば、Microsoft ネットワーク上では同一端末とみなされます。アプリケーションインストール後に CF カードをコピーして出荷用マスタ CF カードを作成する場合には、「EWFSettingTool.exe」ツールを使用してセキュリティ ID の変更を行ってください。

- MEMO** • 設定を行う前に、ライトフィルタの設定を無効にしてから実施してください。ライトフィルタが有効の場合、変更した内容が反映されません。

☞ [3.1 ライトフィルタの設定手順](1-8 ページ)

4.1 セキュリティ ID 変更手順

- (1) 「EWFSettingTool.exe」を起動し、以下の画面にて「Change Security ID」を選択し「OK」をクリックしてください。

(起動ファイル先は、C: ¥ Proface ¥ EWFSettingTool ¥ EWFSettingTool.exe)



- (2) しばらくすると以下のメッセージが出力されることを確認します。



- (3) 「OK」をクリックすると、自動的に再起動されます。

重要

- ・ 次回起動時にセキュリティ ID の書き換えが発生します。マスター CF カードを作成する場合は、(3) の再起動後、BIOS 画面が表示されているときに電源を OFF し、CF カードを複製してください。
- ・ 複製した CF カードをそれぞれ別の本体に装着して起動することで、固有のセキュリティ ID を生成することが可能になります。BIOS 画面で電源を OFF せずに本体が再起動されてしまった場合には再度セキュリティ ID の生成が必要となります。

(4) セキュリティ ID 変更後の起動時に以下のメッセージが出力されます。



(5) 「OK」をクリックすると、自動的に再起動されます。

MEMO

- ・ 起動後はライトフィルタが有効設定になりますので、再設定の必要はありません。

セキュリティ ID の変更の注意事項

セキュリティ ID が変更された場合、MACHINE_NAME が変更されるため、イベントエラーが発生します。

5 RAM Disk について

OS が書き込むイベントエラーデータや、IE のキャッシュデータ等を格納する揮発性ディスク領域です。

< 出荷時設定 >

ドライブレター : Z

サイズ : 3MB

MEMO

- ・ ドライブレターの設定は変更しないでください。

5.1 RAM Disk の設定手順

MEMO

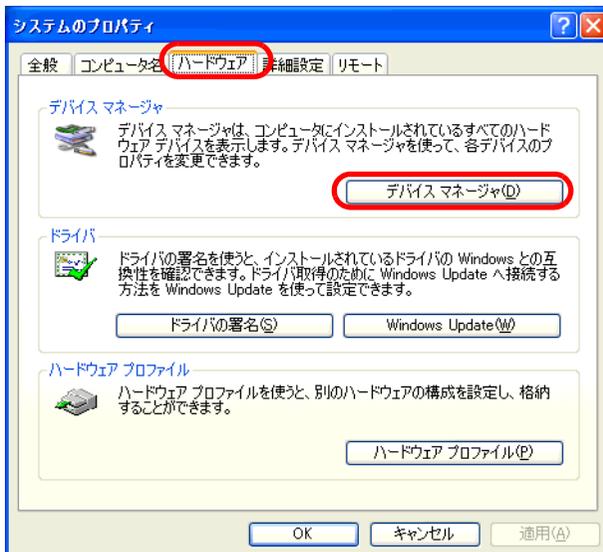
- ・ 設定を行う前に、ライトフィルタの設定を無効にしてから実施してください。ライトフィルタが有効の場合、変更した内容が反映されません。

☞ [3.1 ライトフィルタの設定手順](1-8 ページ)

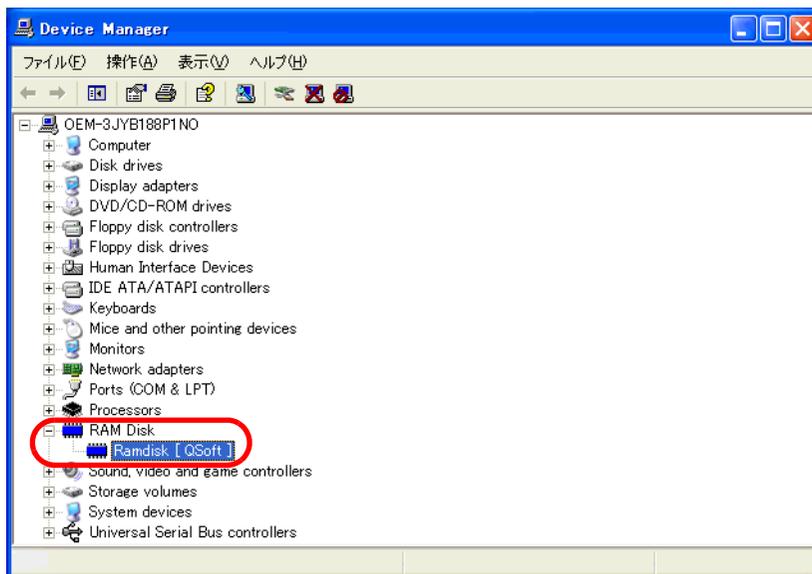
- (1) コントロールパネル内のシステムを実行します。



- (2) [ハードウェア] タブを選択し、[デバイスマネージャ (D)] を選択します。



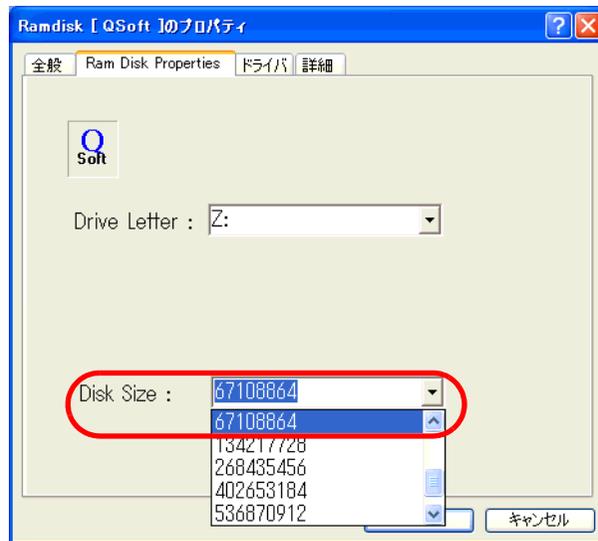
- (3) 下記のようなダイアログボックスが表示されるので、[RAM Disk] 左横の + マークをクリックし、[RAMdisk [QSoft]] をダブルクリックします。



- (4) 下記のようなダイアログボックスが表示されるので [Ram Disk Properties] タブを選択します。



- (5) [Disk Size] で RAM Disk 領域を設定します。

**重要**

- RAM Disk 領域の最大値は「67108864」です。それ以上の値を設定した場合、エラーが発生します。

MEMO

- ドライブレターの設定は変更しないでください。

- (6) 本体を再起動します。

6 各種設定

6.1 コントロールパネルの機能

アイコン名	内容	補足（有効範囲等）
Backlight Brightness※1	バックライトの輝度調整を行います。 ☞ [6.2 Backlight Brightness](1-15 ページ)	4段階の設定を行えます。初期設定は最大の明るさになっています。
インターネット オプション	インターネットの表示画面や接続情報を構成します。	出荷時設定として、キャッシュサイズを 1MB、履歴保存日を 0 日、キャッシュ格納フォルダを Z:¥(RAM Disk) に変更してあります。
フォルダ オプション	ファイルやフォルダの表示のカスタマイズ、ファイルの関連付けの変更、ネットワークファイルのオフライン利用を設定します。	出荷時設定として、ネットワークファイルのオフライン利用は無効に変更してあります。
プリンタと FAX	インストールしているプリンタや FAX を表示します。また新しいプリンタや FAX のインストールの設定を行います。	FAX は対応していません。
プログラムの追加と削除	プログラムや Windows コンポーネントをインストールおよび削除します。	Windows コンポーネントの追加と削除、および、Windows Update は使用できません。
インターネット インフォメーション サービス	インターネットおよびイントラネットの Web サイトのための Web サーバーである IIS を管理します。	出荷時設定として、IIS を無効に設定してあります。

※1 PS-2000B にこの機能はありません。

重要

- 各設定を行う前に、ライトフィルタの設定を無効にしてから実施してください。ライトフィルタが有効の場合、変更した内容が反映されません。

☞ [3.1 ライトフィルタの設定手順](1-8 ページ)

6.2 Backlight Brightness

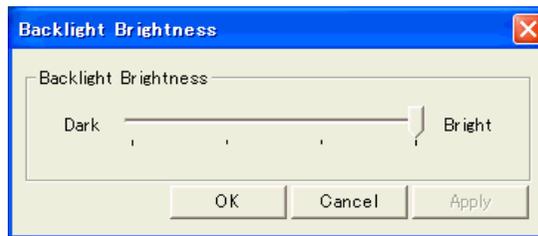
画面の輝度を調整します。4 段階に調整できます。

設定手順

MEMO ・ 設定を行う前に、ライトフィルタの設定を無効にしてから実施してください。ライトフィルタが有効の場合、変更した内容が反映されません。

☞ [3.1 ライトフィルタの設定手順](1-8 ページ)

(1) コントロールパネルで [Backlight Brightness] アイコンをダブルクリックします。



(2) 輝度を選択します (4 段階)。

(3) [OK] を選択して終了してください。

MEMO ・ PS-2000B にこの機能はありません。

6.3 KeyClick

IN-fINITY soft 製のソフトウェアキーボード (KeyClick32) です。ご使用前に付録のライセンス契約書を必ずお読みいただきますようお願いいたします。

☞ [1 「IN-fINITY soft 製 KeyClick32」規約](A-2 ページ)

ご使用の際にフォントサイズの変更を行う場合は、以下の図を参照に設定変更を行ってください。

設定手順

MEMO ・ 設定を行う前に、ライトフィルタの設定を無効にしてから実施してください。ライトフィルタが有効の場合、変更した内容が反映されません。

☞ [3.1 ライトフィルタの設定手順](1-8 ページ)

(1) [スタート] [すべてのプログラム] [KeyClick] を開き、[KeyClick] を起動します。(実行ファイルは、C:¥ Proface ¥ KeyClick ¥ KeyClick.exe)

(2) フォントサイズの変更を行う場合は、次の図を参考に設定変更を実施してください。

重要 ・ KeyClick の設定変更を行うには Power User 権限が必要です。

(1) ここをクリックしてフォントサイズ変更
ダイアログを表示してください。

(2) PWをクリックしてKeyClickを終了してください。
フォントサイズの変更はKeyClickを次回起動したと
きから有効になります。



フォントサイズ変更画面



6.4 UPDD

マウスエミュレーションを実現するタッチパネルドライバ (株式会社ディー・エム・シー社製) です。ご使用前に付録のライセンス契約書を必ずお読みいただきますようお願いいたします。

☞ [2 Mouse Emulation Software ソフトウェア使用権許諾契約書](A-3 ページ)

PS-2000B は出荷時に UPDD を組み込んでいません。必要に応じて以下の手順でインストールしてください。

インストール手順

MEMO • インストールを行う前に、ライトフィルタの設定を無効にしてから実施してください。ライトフィルタが有効の場合、インストールした内容が反映されません。

☞ [3.1 ライトフィルタの設定手順](1-8 ページ)

(1) XPE の CD-ROM から UPDD フォルダ内の setup.exe を起動します。インストーラの指示にしたがって UPDD をインストールします。

(実行ファイルは、XPE の CD-ROM の ¥UPDD ¥ setup.exe)

設定手順

(1) [スタート] [すべてのプログラム] [UPDD] を開き、[キャリブレーション] を起動します。(実行ファイルは、C: ¥ Program Files ¥ UPDD ¥ TBCALIB.exe)

(2) 表示された画面に記載されている手順に従い、キャリブレーション (画面補正) を行ってください。

6.5 言語の削除

マルチランゲージ版をご使用の場合、不要なマルチランゲージの言語を削除することにより、CF カードの空き領域を増やすことができます。日本語版にこの機能はありません。

重要 • 一度削除した言語は、元に戻すことはできません。リカバリツールを用いて、事前にバックアップを取っておくことをおすすめします。

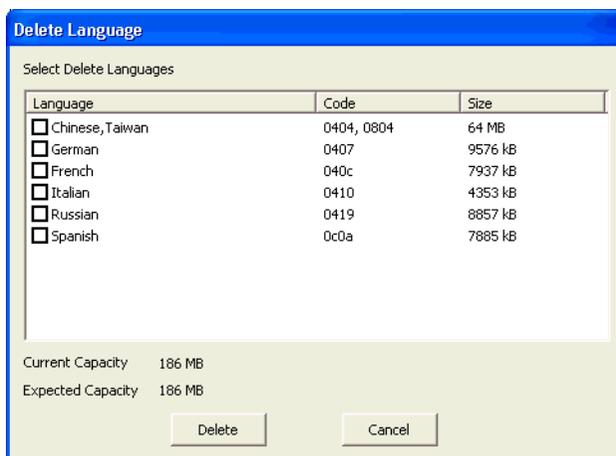
以下に言語の削除の手順を記載します。

設定手順

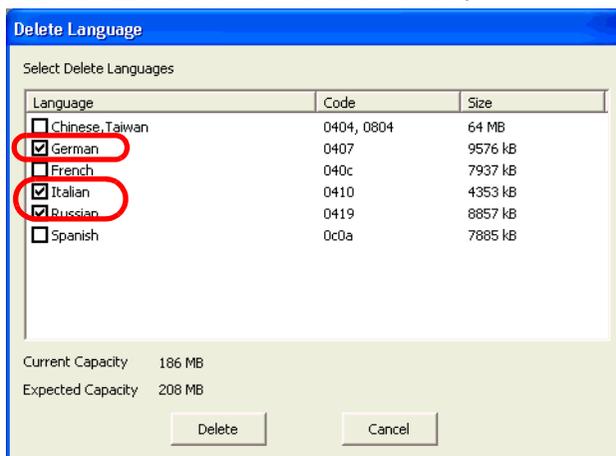
- MEMO** • 言語の削除を行う前に、ライトフィルタの設定を無効にしてから実施してください。ライトフィルタが有効の場合、変更した内容が反映されません。

☞ [3.1 ライトフィルタの設定手順](1-8 ページ)

- (1) [スタート] [ファイル名を指定して実行] を開き C:\Proface\DeleteLanguage\DelLang.exe 実行ファイルを起動します。起動すると次のようなダイアログボックスが表示されます。



- (2) 削除したい言語にチェックを入れます。(Current Capacity は現在の空き領域、Expected Capacity は削除後の空き領域をそれぞれ表示します。)



- (3) 削除後の空き領域を確認後、[Delete] ボタンを選択します。

- (4) 下記のようなダイアログボックスが表示されるので [OK] をクリックします。



- (5) 本体を再起動します。

6.6 Windows Media Player について

Windows Media Player は、別途ダウンロードしていただく必要があります。

MEMO

- 下記 URL は変更される可能性があります。詳細は Microsoft 社のサイトで確認してください。
- インストールを行う前に、ライトフィルタの設定を無効にしてから実施してください。ライトフィルタが有効の場合、インストールした内容が反映されません。

 [3.1 ライトフィルタの設定手順](1-8 ページ)

- 日本語版に関して

以下の URL を参照し、日本語版をダウンロードしてインストールを行ってください。

<http://www.microsoft.com/downloads/details.aspx?displaylang=ja&FamilyID=B446AE53-3759-40CF-80D5-CDE4BBE07999>

- マルチランゲージ版に関して

以下の URL を参照し、英語版をダウンロードしてインストールを行ってください。

<http://www.microsoft.com/downloads/details.aspx?familyid=B446AE53-3759-40CF-80D5-CDE4BBE07999&displaylang=en>

また、英語以外の言語で使用する際は、以下の URL を参照し、各言語の MUI パックをダウンロードしてインストールを行ってください。

<http://www.microsoft.com/downloads/details.aspx?FamilyID=02106bdb-b012-4327-96cb-73937ae00667&DisplayLang=en>

6.7 Java Runtime

Java Runtime は他にインストールされているアプリケーションにより、必要な JavaVM のバージョンが異なります。そのため出荷時に Java Runtime を組み込んでいません。

Web 端末などで Java Runtime を使用する仕様の場合、以下のことに注意し、手順に従ってインストールを行ってください。

MEMO

- 下記 URL は変更される可能性があります。詳細は Sun Microsystems 社のサイトで確認してください。
- インストールを行う前に、ライトフィルタの設定を無効にしてから実施してください。ライトフィルタが有効の場合、インストールした内容が反映されません。

 [3.1 ライトフィルタの設定手順](1-8 ページ)

- ダウンロード手順

URL : <http://java.sun.com/j2se/>

上記 URL 内、Popular Downloads 内の J2SE 1.4.2 から、

Download J2SE JRE を選択し、JRE をダウンロードしてください。

Java Runtime は使用されるアプリケーションにあったバージョンをお使いください。

動作確認で検証したバージョンは 1.4.2.10 です。

- インストール手順

インストールされるモジュールの容量を小さくするために、カスタムにてインストールを行ってください。

言語のサポート不要の場合は、「Java 2 Runtime Environment」のみをインストールしてください。

6.8 Macromedia 社 Macromedia Flash Player 及び Shockwave Player について

出荷時にはインストールされていません。Web 端末などで用いる必要がある場合、インターネットに接続できる環境にして、以下の手順に従いインストールを行ってください。ご使用に際しては、最新版をダウンロードしてください。

MEMO

- 下記 URL は変更される可能性があります。詳細は Macromedia 社のサイトで確認してください。
- インストールを行う前に、ライトフィルタの設定を無効にしてから実施してください。ライトフィルタが有効の場合、インストールした内容が反映されません。

 [3.1 ライトフィルタの設定手順](1-8 ページ)

ダウンロード URL

以下の URL を参照し、インストール手順に沿ってインストールを行ってください。

- Flash Player
http://www.macromedia.com/shockwave/download/download.cgi?P1_Prod_Version=ShockwaveFlash
- Shockwave Player
<http://sdc.shockwave.com/shockwave/download/download.cgi?>

動作確認

検証したバージョンは次のとおりです。

- Flash Player 8.0.22.0
- Shockwave Player 10.1.0.11

7 終了

ライトフィルタが有効になっている場合、シャットダウンを行う必要がありません。ハードディスクを接続している場合は、本体フロント LED が消灯していることを確認の上、電源をお切りください。ただし、ライトフィルタが有効になっている場合は、その間に行われた OS の設定変更、CF カードへの書き込みデータが電源 OFF とともに破棄されます。

7.1 ハードディスクと組み合わせ時の終了

ハードディスクと組み合わせてご利用の際、ハードディスクにアクセスを行っていない場合は、シャットダウンは不要になります。

しかし、電源 OFF のタイミングによっては、書き込みキャッシュが残り、データが正常にハードディスクに書き込まれません。ハードディスクと組み合わせて使用される場合は、以下の手順に従い、書き込みキャッシュ無効の設定を行ってください。

設定手順

MEMO

- PS-370xA シリーズでは対応していません。
- 設定を行う前に、ライトフィルタの設定を無効にしてから実施してください。ライトフィルタが有効の場合、変更した内容が反映されません。

☞ [3.1 ライトフィルタの設定手順](1-8 ページ)

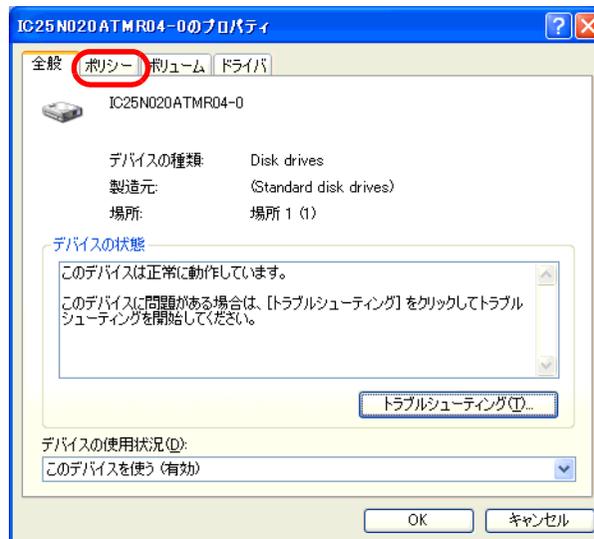
- (1) エクスプローラ上で、ハードディスクを選択し、[ファイル (F)] メニューから [プロパティ (R)] を選択します。
- (2) 下記のようなプロパティダイアログボックスが表示されるので [ハードウェア] タブを選択します。



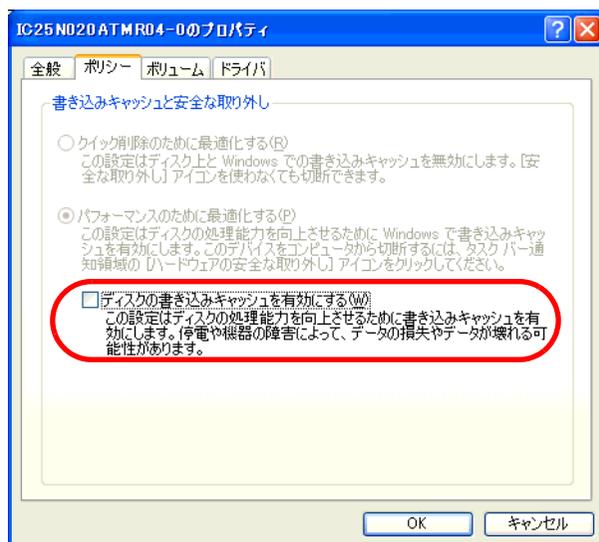
- (3) [全ディスクドライブ (D)] より、ハードディスクを選択し、[プロパティ (R)] を選択します。



- (4) 下記のようなプロパティダイアログボックスが表示されるので [ポリシー] タブを選択します。



- (5) [ディスクの書き込みキャッシュを有効にする (W)] のチェックを外し、[OK] を選択します。



- (6) ハードディスクのプロパティダイアログボックスに戻るので [OK] を選択します。
- (7) 本体を再起動します。

8 リカバリについて

XPE のリカバリのためのリカバリツールがあります。

リカバリツールは、(株) デジタル ウェブサイトでのみ公開しています。

(URL <http://www.proface.co.jp/>)

リカバリツールのダウンロードおよび使い方については、上記ウェブサイトを参照してください。

リカバリツールは以下の仕様を満たす場合のみ使用できます。

- (株) デジタル製 CF カードに対してのみ使用できます。
- (株) デジタル製 XPE CF のみ保存できます。

9 制限事項

- ヘルプドキュメントは実装していません。
- 本体起動時のメモリ使用量は約 100MB です。
- 搭載メモリが 128MB の場合、XPE は動作しません。256MB 以上のメモリでご使用ください。
- 仮想メモリ機能は使用できません。動作させるアプリケーションのメモリ使用量によっては OS が停止する場合があります。
- IE のキャッシュや IIS の機能は、出荷時に以下のように設定しています。
 - キャッシュファイル：最小値
 - IIS：無効

MEMO

- 上記のファイルは RAM Disk に残されるので、電源 OFF 時に削除されます。
- SCADA ソフトの iFIX など、インストールされるアプリケーションサイズが大きいものはインストールできません。
- Windows Update 機能は Windows を自動的に更新し、システムを最新の状態にしてくれるオンラインサポートですが、XPE については Microsoft の Windows Update サービスに対応していません。Windows Update をインターネット上で実行した場合、一部のアップデートモジュールがインストールに失敗します。よって、絶対にインターネット上からインストールを実行しないようにご注意ください。

A | 付録

1	「IN-fINITY soft 製 KeyClick32」規約	A-2
2	Mouse Emulation Software ソフトウェア使用権許諾契約書	A-3

1 「IN-fINITY soft 製 KeyClick32」規約

「IN-fINITY soft 製 KeyClick32」規約

著作権は、IN-fINITY soft が所有しています。本プログラムの使用ならびに使用不能におけるいかなる損害に関して一切責任を負わないものとします。また、本プログラムに不具合が発見されても作者は不具合を修正する義務を負わないものとします。

2 Mouse Emulation Software ソフトウェア使用権許諾契約書

「Mouse Emulation Software(TSC-1310D/DD)」ソフトウェア使用権許諾契約書

本製品を開封又は御使用前に、以下のライセンス契約を必ずお読みください。

本使用許諾契約書は、下記に示されたソフトウェア製品（以下「本ソフトウェア製品」）に関してお客様と株式会社ディ・エム・シー（以下「DMC」）との間に締結される契約書です。本ソフトウェア製品を開封、インストール、複製又は使用することによってお客様は本契約に同意し、契約が成立したものとします。事前に本契約を十分に御確認、御理解をお願いいたします。本契約に同意されない場合、DMC はお客様に本ソフトウェア製品の開封、インストール、複製、又は使用のいずれも許諾できません。そのような場合、未使用の本ソフトウェア製品を直ちに購入先へ御返却ください。お支払済みの代金が御返却されます。

1. 著作権

本ソフトウェア製品の著作権は Touch-Base Ltd. に帰属します。

2. 使用権

DMC は、本ソフトウェア製品に含まれるプログラム及びこれに関する資料を、以下の条件で使用できる譲渡不能の非独占的使用権をお客様に許諾します。

お客様は、本ソフトウェア製品を、ライセンス許諾される本ソフトウェア製品及びそのコピーを複数のコンピュータによる本ソフトウェア製品の使用を許可するライセンスを購入していない場合は、特定の 1 台のコンピュータ上でのみ本ソフトウェア製品を使用する権利を与えられます。

お客様は、使用を許可されているコンピュータ 1 台につき 1 部を、バックアップの為にのみ本ソフトウェア製品のコピーを作成することができます。上記以外の目的の為に本ソフトウェア製品の一部又は全てをメディアを問わずコピーすることはできません。

お客様は、本ソフトウェア製品のコピー全てに対し、本ソフトウェア製品と同様の著作権表示等を明記しなければなりません。

本ソフトウェア製品及びそのコピーの無体財産権は DMC 及び DMC への供給者に帰属します。

3. 使用期間

本契約は、契約成立時から、DMC 又はお客様が本契約に従い解約するまで続きます。

4. 使用権の消滅

お客様は、本ソフトウェア製品及びそのコピーの内容物全てを抹消、又は破壊することにより、いつでも本ソフトウェア製品の使用権を消滅させることができます。

DMC は、お客様が本許諾内容に違反した場合、通知によりお客様の本ソフトウェア製品の使用権を消滅させることができます。この場合、お客様は本ソフトウェア製品及びそのコピーの内容物全てを 1ヶ月以内に DMC に返却するものとします。

5. 保証

DMC は、本ソフトウェア製品購入後、90 日間本ソフトウェア製品が記録、格納されている媒体自体又は当該媒体に於ける本ソフトウェア製品の記録状態に材質上又は製作上の瑕疵が無い事を保証します。万一、本保証期間中に本ソフトウェア製品が記録、格納されている媒体自体又は当該媒体に於ける本ソフトウェア製品の記録状態に材質又は製作上の瑕疵が認められた場合、本ソフトウェア製品が記録、格納されている媒体を交換いたします。但し、お客様から当該瑕疵につき本保証期間内に通知していただくことを条件とします。

DMC は、前項の本ソフトウェア製品が記録、格納されている媒体の交換を除いては、本ソフトウェア製品に対していかなる明示、又は暗黙の保証を与えることは無く、お客様に供給されたときの状態にて使用許諾します。又、本ソフトウェア製品がお客様の特定の使用目的のために適切又は有用であること、本ソフトウェアの実行が中断されないこと及びその実行に誤りが無いことを保証する物ではありません。

本状に基づく DMC の責任は本ソフトウェア製品が記録、格納されている媒体の交換に限定されるものとし、DMC はその他の法律上の瑕疵担保責任を含む全ての明示又は黙示の保証責任及び本ソフトウェア製品に起因するお客様の逸失利益、特別な事情から生じた損害、データなどに対する損害及び無体財産権に関し第三者からお客様に対してなされた損害賠償請求に基づく賠償責任などの一切の責任を負いません。

6. お客様の義務

お客様は、本ソフトウェア製品が著作権法等によって保護される無体財産権を含む機密情報又は財産的情報を有することを認識するとともに、以下の行為をしないものとします。

本許諾条項以外により本ソフトウェア製品を使用、コピー、又は解析、改変する行為。

本ソフトウェア製品を第三者への譲渡、賃貸、再許諾する行為。

本ソフトウェア製品に直接記録、又は本ソフトウェア製品が記録、格納されている媒体に表示されている著作権を含む無体財産権の権利表示を削除、又は変更する行為。

7. 輸出規制

本ソフトウェア製品が外国為替及び外国貿易管理法及びこれに付随する法令の規制対象品となる場合、お客様は当該法令及び規則を遵守するものとします。

株式会社ディ・エム・シー

<http://www.dmccoltd.com>

本社 〒 979-0401 福島県双葉郡広野町広野工業団地

TEL: 0240-27-4030 FAX: 0240-27-4025